

PRESS RELEASE

The Nutcracker
and the Mouse King

新国立劇場バレエ 2020/2021シーズン
NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO 2020/2021 SEASON

新国立劇場バレエ団

くるみ割り人形

2020.
12/12(土) 13:00/18:00,
13(日) 13:00/18:00,
18(金) 19:00,
19(土) 13:00/18:00,
20(日) 13:00/18:00



資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美／田村昌子

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

クリスマス・シーズンは色彩豊かで心躍る舞台を

2017年に初演された本作は、ウエイン・イーグリングによる華麗でスピーディーな振付やユーモアのセンス、上品で華やかな美術や衣裳によって現実と夢の世界を美しく描きました。古典名作の新境地を開いたと高く評価された人気演目です。高度なパートナーリングやテクニックが求められる主役のみならず、雪の場面や花のワルツの群舞、2幕のディヴェルティスマンなど見どころが多く、充実したダンサー陣容を誇る新国立劇場バレエ団ならではの『くるみ割り人形』です。再演を重ねることでさらに磨き上げられた舞台をご堪能ください。

なお、本公演はインターネットでの有料配信も予定しています。

見どころ

その1：小さなお子様から大人まで、全ての方におすすめ！幸せいっぱいの舞台

今やクリスマス・シーズンの定番となったバレエ『くるみ割り人形』。幸せで温かな気持ちになる作品で、バレエ初心者の方も、バレエ・ファンの方も劇場で至福の時をお過ごしいただけます。雪の場面や花のワルツでは新国立劇場バレエ団が誇る美しいコール・ド・バレエ、2幕でのディヴェルティスマンなどではソリスト陣の多彩な踊りを堪能できます。

その2：チャイコフスキーのお馴染みの美しい音楽

「花のワルツ」をはじめ「行進曲」「こんぺい糖の精の踊り」など、有名な曲が次々と登場。チャイコフスキー三大バレエのなかでもひととき美しく親しみやすい音楽で、どなたにも楽しんでいただけます。

その3：「少女クララの成長」を描く、分かりやすいストーリー展開

振付のイーグリング曰く、本作のコンセプトは「少女クララの成長」。物語が「少女クララの夢」として構成されており、ストーリーの展開がより理解しやすい構成となっています。

第1幕前半の少女クララは子役ダンサーが踊り、夢の世界で大人になったクララは大人のダンサーが演じることにより、現実と夢の世界の違いが一層明確になり、ずっとバレエの世界に入っていきます。

その4：ダンサーの実力が試される、華麗でスピーディーな振付

ダンサーたちが“難しいテクニックが多く、フィジカルの強さが試される”と口を揃える本作。「男性ダンサーにも女性と同等の重要性を担わせ、より高いレベルの踊りを求めたい」というイーグリングの思いが詰まっており、特にイーグリングが主役ダンサーに新たに振り付けたパ・ド・ドゥは、高度なパートナーリングの技術が必要とされます。また、男性の主役ダンサーが一人で3役を演じる点は特筆されます。



ものがたり



クリスマス・イブ。クララの家ではパーティーの準備で忙しく、外では凍った運河の上で人々がスケートを楽しんでいる。謎めいたドロッセルマイヤーと、士官学校を卒業したばかりの彼の甥が到着する。ドロッセルマイヤーは招待客に手品を披露し、クララの姉のルイーゼとルイーゼを慕う3人の男性が踊りだす。ドロッセルマイヤーがクララに贈ったくるみ割り人形（以下、人形）をフリッツが壊してしまうが、ドロッセルマイヤーは魔法のように人形を元通りに直す。パーティーが終わり、クララが眠りにつくと、夢の中で人形は邪悪なねずみの王様に攻撃される。ねずみの王様がねずみたちを引き連れて現れると人形も勇敢な兵士に

変身し、ねずみたちとの戦いに挑む。ねずみの軍隊が勝利し、人形は傷を負ってしまう。ドロッセルマイヤーがその場を収め、クララは人形から姿を変えた甥と二人ロマンティックなパ・ド・ドウを踊る。しかし雪が降り始めるなか、ねずみの王様は甥を人形の姿に戻してしまう。居間が魔法にかかり、光り輝く雪片が降る白銀世界に変わっていく。ねずみの王様たちに追われるクララと人形は、ドロッセルマイヤーに救われて、魔法の地へと気球に乗って運ばれていく。一方でねずみの王様は一計を案じる。



魔法の地に到着した。甥はねずみの王様を打ち負かして、壮大な祝祭が始まる。中国、アラビア、ロシア、スペインなど世界中のダンサーたちが様々な踊りを見せる。ドロッセルマイヤーの魔法で美しい庭が現れ、その中でダンサーたちが花のワルツを踊る。最後にクララはこんぺい糖の精となり、王子になった甥とともに美しいパ・ド・ドウを踊る。

クララは突然、寝室で目覚めた自分に驚く。フリッツとクララは外に出て、雪の中でドロッセルマイヤーとその甥に手を振って別れを告げる。子供たちは不思議な思いに包まれて二人を見送る。



2019 年公演より
撮影：鹿摩隆司

スタッフプロフィール

【振付】 ウェイン・イーグリング Wayne EAGLING



カナダのモントリオール生まれ。ロンドンのロイヤル・バレエ学校で学び、卒業後 1969 年に英国ロイヤル・バレエに入団。1975 年にはプリンシパル・ダンサーに昇進。同バレエ団のレパートリーの主たる古典的な役の全てを踊り、マクミラン、アシュトン、バラシン、ロビンス、ハンス・ファン・マーネン、ノイマイヤー、ヌレエフ、ビントレーといった振付家の作品に出演。ロイヤル・バレエ・スクール用に『R.B.Sque』(83 年)、ロイヤル・バレエ公演に『フランケンシュタイン、現代のプロメテウス』(85 年)などを創作。91 年にダンサーとしての現役を引退し、その後 13 年間オランダ国立バレエの芸術監督を務める。オランダ国立バレエのための振付作品は、『Ruins of Time』(93 年)、『魔笛』(98 年)、『春の祭典』(2000 年)など。05 年から 12 年までロンドンのイングリッシュ・ナショナル・バレエの芸術監督として『レゾリュション』(08 年)、『Men Y Men』(09 年)、『くるみ割り人形』(10 年)、『遊戯』(12 年)の振付を行っている。新国立劇場バレエ団では 14 年『眠れる森の美女』を改訂振付、16 年『Men Y Men』日本初演、17 年『くるみ割り人形』振付を手がけた。

【美術】 川口直次 KAWAGUCHI Naoji



1962 年日本放送協会に入局。大河ドラマなどテレビドラマの美術で活躍するかたわら、オペラ・バレエ・演劇などの舞台美術を数多く手がける。77 年伊藤熹朔賞受賞。83 年文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。日本放送協会を退職後、武蔵野美術大学で、舞台美術、映像美術の教育に携わる。新国立劇場のバレエ公演では、『パキータ』『こどものためのバレエ劇場』『シンデレラ』、2014 年『眠れる森の美女』、15 年『ホフマン物語』、17 年『くるみ割り人形』、オペラ公演では『セビリアの理髪師』『トスカ』『こうもり』の美術を手がけた。の代表作としては、『新 白鳥の湖』『ロミオとジュリエット』(松山バレエ団)、『ドン・キホーテ』(牧阿佐美バレエ団)など。近年手がけたオペラ作品としては『ラ・ボエーム』『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』(名古屋二期会)、新作オペラ『いのち』(長崎県オペラ協会公演)などがある。オペラ、バレエのほかに演劇や映画の美術を多数手がけており、代表的な映画作品に伊丹十三監督作品『静かな生活』『スーパーの女』『マルタイの女』がある。武蔵野美術大学名誉教授。

【衣裳】 前田文子 (MAEDA Ayako)



1988 年より緒方規矩子に師事。95 年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてイギリスへ留学。新国立劇場では演劇公演『喪服の似合うエレクトラ』『夢の痼』『ヘンリー六世』『雨』『リチャード三世』『アジア温泉』『プレス・オブ・ライフ』『星ノ数ホド』『オレスティア』『骨と十字架』『リチャード二世』、オペラ公演『蝶々夫人』『鹿鳴館』、バレエ公演では石井潤『カルメン』、ダレル『ホフマン物語』、イーグリング『くるみ割り人形』、ダンス公演の伊藤キム『close the door, open your mouth』、前田清実『きらめく背骨』の衣裳も手がけている。95 年度伊藤熹朔賞新人賞、第 10 回・第 25 回読売演劇大賞優秀スタッフ賞、2003 年度伊藤熹朔賞、06 年第 5 回橘秋子舞台クリエイティブ賞、18 年第 53 回紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。

【照明】 沢田祐二 (SAWADA Yuji)



東京生まれ。文化庁派遣在外研修員としてロンドン、ベルリンで演劇、オペラ、バレエの照明法を学ぶ。現在は演劇、オペラ、バレエ、ミュージカルなど幅広いジャンルで照明デザイナーとして活躍。新国立劇場におけるバレエ公演では『眠れる森の美女』『ホフマン物語』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ライモンダ』『白鳥の湖』『ジゼル』『マノン』『カルメン』『オルフェとエウリディーチェ』『椿姫』『火の鳥』『パゴダの王子』など。日本バレエ協会公演『白鳥の湖』『ジゼル』『眠れる森の美女』『アンナ・カレーニナ』なども手掛ける。他に新国立劇場ではオペラで『カルメン』『魔弾の射手』『黒船』『修善寺物語』『鹿鳴館』『夜叉ヶ池』、演劇では『城』『わが町』『アジア温泉』『ピグマリオン』『かもめ』『オレスティア』などを手掛ける。第 1、10 回照明家協会賞大賞、文部大臣奨励賞。第 1 回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞。第 33 回紀伊國屋演劇賞。第 1 回橘秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。

【指揮】 富田実里 TOMITA Misato



国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤル・バレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBA バレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』を指揮した。今シーズンは「ニューイヤー・バレエ」『眠れる森の美女』『コッペリア』も指揮する予定。

配役・プロフィール

2020 年 12 月	12 日 (土) 13:00	12 日 (土) 18:00	13 日 (日) 13:00	13 日 (日) 18:00	18 日 (金) 19:00	19 日 (土) 13:00	19 日 (土) 18:00	20 日 (日) 13:00	20 日 (日) 18:00
クララ	小野絢子	米沢 唯	池田理沙子	木村優里	米沢 唯	小野絢子	木村優里	池田理沙子	小野絢子
王子	福岡雄大	井澤 駿	奥村康祐	渡邊峻郁	井澤 駿	福岡雄大	渡邊峻郁	奥村康祐	福岡雄大

【クララ/こんぺい糖の精】

小野絢子 ONO Ayako <プリンシパル>



東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほとんどの作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。

米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>



愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリス、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫などがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。

木村優里 KIMURA Yuri <ファースト・ソリスト>



千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『眠れる森の美女』『ジゼル』やF.アシントン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』で主役を踊り好評を博した。19年ファースト・ソリストに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。

池田理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト>



東京都出身。バレエスタジオ DUO で学ぶ。2009 年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。K バレエカンパニーを経て、16 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し 19 年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』や F.アシュトン『シンデレラ』、R.プティ『コッペリア』、D.ビントレー『アラジン』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』などで主役を踊り好評を博している。

【ドロッセルマイヤーの甥/くるみ割り人形/王子】

井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>



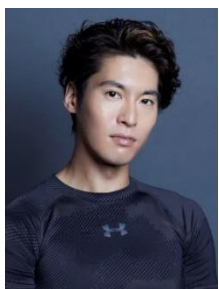
群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014 年新国立劇場バレエ団に入団。同年 F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17 年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典や R.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精・ジーンなどを踊っている。18 年中川鋭之助賞、20 年舞踊批評家協会新人賞。

奥村康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル>



大阪府出身。母・地主薫に師事し、09 年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12 年新国立劇場バレエ団に入団し、16 年よりプリンシパル。古典作品や D.ビントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、W.イーグリング『くるみ割り人形』ねずみの王様、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを初演している。新国立劇場バレエ『ドン・キホーテ』では 13 年にバジル役で主役デビュー、16 年にはガマーシュも演じた。10 年文化庁芸術祭新人賞、14 年舞踊批評家協会新人賞、16 年中川鋭之助賞。

福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>



大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て 2009 年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12 年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。17, 19 年ダンス公演中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11 年中川鋭之助賞、13 年舞踊批評家協会新人賞、18 年芸術選奨文部科学大臣新人賞。

渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>



福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009 年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19 年プリンシパル昇格。古典作品の主役や C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』ゲーテ/シラー、JAPON dance project『Summer/Night/Dream』ライサンダーなどを踊り好評を博している。

公演概要

2020/2021 シーズン

新国立劇場バレエ団「くるみ割り人形」

The Nutcracker and the Mouse King

芸術監督	吉田 都
振付	ウエイン・イーグリング
音楽	ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
美術	川口直次
衣裳	前田文子
照明	沢田祐二
指揮	富田実里
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
合唱	東京少年少女合唱隊
出演	新国立劇場バレエ団

【公演日程】

2020 年 12 月 12 日（土） 13:00

2020 年 12 月 12 日（土） 18:00

2020 年 12 月 13 日（日） 13:00

2020 年 12 月 13 日（日） 18:00

2020 年 12 月 18 日（金） 19:00

2020 年 12 月 19 日（土） 13:00

2020 年 12 月 19 日（土） 18:00

2020 年 12 月 20 日（日） 13:00

2020 年 12 月 20 日（日） 18:00 **LIVE配信**

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、託児サービス、バックステージツアーは当面休止させていただきます。

*開場は開演 45 分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結）

11 月 22 日（日）～12 月 24 日（木）の期間限定で、バレエ「くるみ割り人形」より「行進曲」が初台駅の列車接近メロディーになります。ダンス公演『サーカス』『NINJA』で音楽を担当された川瀬浩介さんが編曲した特別アレンジ版で、1 番線と 2 番線は編曲の異なる別バージョンです。バレエ「くるみ割り人形」にお越しのお客様は、ぜひ駅でも耳を澄ませてクリスマスの特別な雰囲気をお楽しみください。



【予定上演時間】 約 2 時間 1 5 分（休憩含む）

【ウェブサイト】 <https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/nutcracker/>

【チケット料金（税込）】

席種	S 席	A 席	B 席	C 席	D 席	Z 席*
料金（税込）	13,200 円	11,000 円	7,700 円	4,400 円	3,300 円	1,650 円

*Z 席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z 席は、公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィス別ウィンドウで開きますおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1 人 1 枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演 2 時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行発売日：11 月 15 日（日）10:00～17 日（火）

バレエ／ダンス先行メンバーズ販売期間：11 月 16 日（月）10:00～17 日（火）

一般発売日：11 月 22 日（日）10:00～

*感染予防に対応した適切な距離を保つため、1 階 1 列～3 列の座席は販売いたしません。

*通常の座席配置（1 階 1 列～3 列を除く）での販売を予定しております。

*政府及び東京都の判断により、イベント収容率の制限に変更が生じた場合は、途中でチケットの販売を停止する場合がございます。

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

チケットぴあ TEL：0570-02-9999

*本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡大防止対策をとって上演いたします。

詳細：新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html

インターネットでの有料映像配信



文化庁委託事業「文化芸術収益力強化事業」

本公演では、より多くの皆様に様々な形でバレエを楽しんでいただきたく、ライブ配信とオンデマンド配信の、2種類の有料配信を予定しています。

今回配信でお届けするのは、新国立劇場バレエ団を代表するプリンシパル・ダンサーの小野絢子、福岡雄大が主演するステージ。

クリスマス・シーズンの風物詩を劇場だけでなく、映像でもご気軽にお楽しみください。

ライブ配信

対象公演：12月20日（日）18:00

視聴券料金：3,000円（税込）

販売期間：11月25日（水）10:00～12月20日（日）18:00

購入URL：チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/nntt-nutcracker/>

イープラス https://eplus.jp/nntt_nutcracker/

- ・ライブ後の見逃し配信はございませんので、ご注意ください。
- ・途中から視聴した場合、その時点からのライブ配信となります。巻き戻しての再生はできません。
- ・視聴には、無料会員登録等が必要となります。
- ・視聴環境等お問い合わせは各種配信サイトをご確認ください。

オンデマンド配信

配信開始日時：1月中旬より配信予定

視聴券料金：980円（税込）

出演：【クララ/こんぺい糖の精】小野絢子

【ドロッセルマイヤーの甥/くるみ割り人形/王子】福岡雄大

- ・ライブ配信と内容が異なる場合があります。
- ・配信期間は1ヶ月程度を予定しております。
- ・配信先等詳細は決定次第お知らせいたします。

